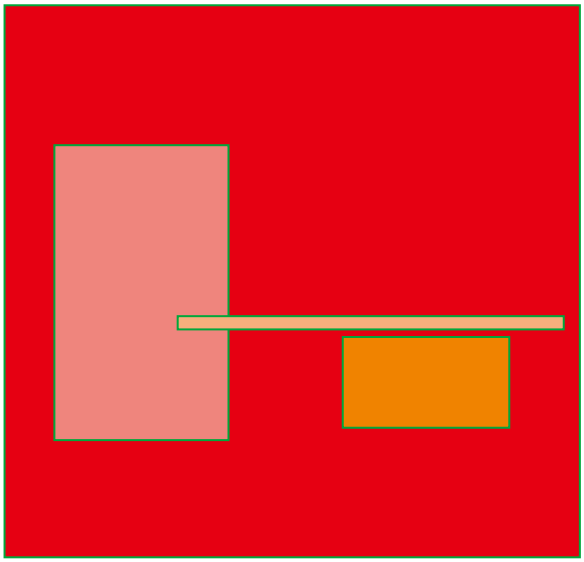
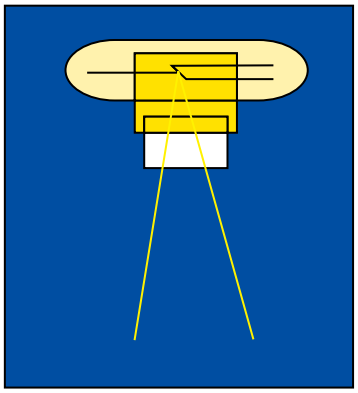
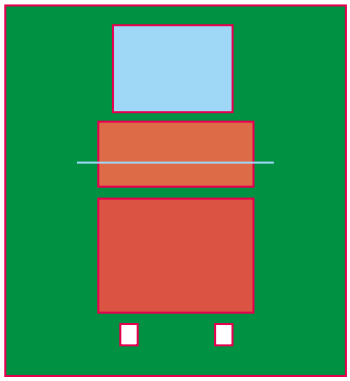
三重県放射線技師会誌

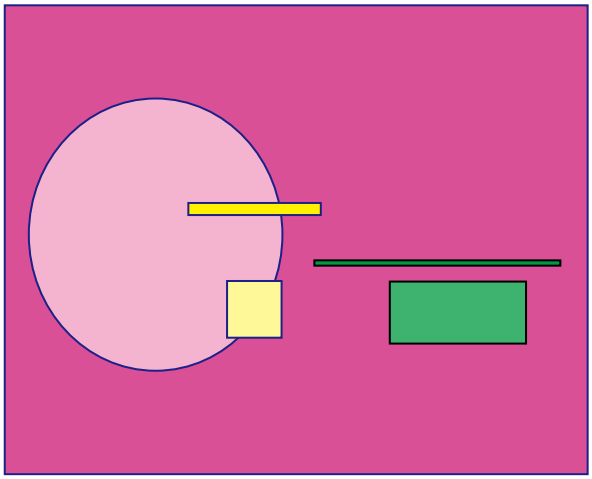
The journal of the Mie
Association of Radiological Technologists

web版









297号 2022.10 vol.73 No.1

一般社団法人 三重県診療放射線技師会

公益社団法人　日本診療放射線技師会

綱　　要

1．わたしたちは、医療を求める人びとに奉仕します。
We will render our services to those to need of health care.

1．わたしたちは、チーム医療の一員として行動します。
We will act as individual members of a health care team

1．わたしたちは、専門分野の責任をまっとうします。
We will perform our duties in our field of specialty.

1．わたしたちは、人びとの利益のために、常に学習します。
We will continue to study for the benefit of mankind.

1．わたしたちは、インフォームド・コンセントを尊重し、実践します。
We will respect and practice the policy of informed consent.

297号
Vol.73 No.1

CONTNETS

□ 巻頭言 4

□ お知らせ 5

厚生労働大臣表彰の受賞に際して

□ 活動報告 6

第56回 日本放射線技術学会中部支部会 乳房画像研究会

第45回 三重乳腺勉強会 合同開催

第12回北勢消化器画像研究会ON LINE (ZOOM)

□ 議事録 10

第 72 回 定時総会

令和4年度 第1回 理事会

令和4年度 第2回 理事会

□ 編集後記 17

一般社団法人　**三重県診療放射線技師会**

〒514-0032　津市中央2-4　三重ビル 502号
TEL/FAX (059)225-1491
H.P. : https://mieart.jp/
e-mail : contact@mieart.jp

郵便振替　00800-5-15152
銀　　行　百五銀行津駅前支店
普通預金口座番号　0203779

□　巻頭言

「第六感で危険予知」

界外　忠之
一般社団法人三重県診療放射線技師会　会長

JARTの理事になると持ち回りでネットワークナウ「五感」の原稿を依頼されることになる。今回その「五感」の原稿を依頼されたことから改めて「五感」をググってみたところ、「動物やヒトが外部からの情報を感じ取る時、目・耳・鼻・舌・皮膚という感覚器から感じる、視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚という五つの感覚」とのことであった。

「五感」を調べると常に、五感以外の感知能力として「第六感」が出てくる。「第六感」は、五感では説明できない感覚のことで勘（直感）、予感、霊感などの第6番目の感覚と言われるものであり、私的には非科学的なものという印象を受ける。

この「第六感」に似たものに世間では「女の勘」と言われるものがあり、男性諸氏では普段の生活の中で女の勘は鋭いと痛感することも多々あろう。実は「女の勘」が鋭いのは科学的に解明されるという説もあり、右脳と左脳をつなぐ脳梁が女性の方が太いので、五感の情報を一度に沢山処理できることから必然的に情報処理能力が高くなり、結果物事の本質を言い当てられるということのようである。「第六感」というのはスピリチュアル的なものではなく、五感から得た情報を整理しまとめる能力ではないかと言われるのも納得できる。

我々の業務にも「第六感」が大いに生かされる場面がある。それは、危険予知と言われるもので、ポータブルで廊下を走行中、「交差点、曲がった先に患者さんがいてもぶつからないようにゆっくり走行しよう」や「車椅子の患者さん、状態が悪そうなので立位はやめて座位で撮影しよう」など、「第六感」をフルに生かしてミスや事故を未然に防止する危険予知能力が求められている。

「第六感」は全くの勘ではなく、五感から得られた情報をまとめ判断する能力であれば、日頃から鍛えたり磨いたりし業務に生かすよう心掛けてもらいたい。

先日、某医療大学の評議員会に出席した。「あれ、あの職能団体会長とあの団体の会長、随分親しそうに話をしてるな」、「あれ、あの団体の会長の席以前より上がってるな」、五感から感じる情報に「うち（放射線技師会）はこのままで大丈夫なのか？」、「もっと大学や他団体と積極的に交流し良い関係を構築しなければマズイんじゃないのか」私の中の職能団体代表としての第六感が危険予知アラートを発している。

□お知らせ

厚生労働大臣表彰の受賞に際して

（一社）三重県診療放射線技師会　会長　界外忠之

令和4年7月16日、経団連会館「国際会議場」にて開催されました（公社）日本診療放射線技師会 創立75周年記念式典に於きまして、厚生労働大臣表彰を拝受いたしました。

夏物のスーツを新調し式典出席を大変楽しみにしておりましたが、折からの新型コロナウイルス感染爆発状況の影響を受け、残念ではありましたが式典出席は辞退といたしました。

今回の受賞は、三重県内でも医療資源の乏しい伊賀・名張地区において、36年の長きに渡り診療放射線技師として地域の健康事業・救急事業・健診業務に精励し地域医療の発展に貢献したこと。

診療放射線業務関係団体活動としては、平成18年より現在まで16年間の長きに渡り（一社）三重県診療放射線技師会の理事を務め、平成30年からは会長として現在3期目重任の任に就き、県内診療放射線技師の知識と診療放射線技術の向上に尽力してきたことなどが評価されたものと認識しております。

このような栄誉に浴することができましたのも、推薦母体である三重県診療放射線技師会の役員、会員諸氏からのご指導ご鞭撻、ならびに職場である畿内会 岡波総合病院の先輩諸兄婦や放射線部の仲間の温かいご支援によるものと深く感謝しております。

今期からは、（公社）日本診療放射線技師会の理事にも就任し、今後は県内のみならず日本の診療放射線技師のために更なる精進をして参る所存ですので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、（一社）三重県診療放射線技師会の益々の発展と会員各位のご活躍、ご健勝を祈念申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。この度は本当にありがとうございました。

□　活動報告

第56回　日本放射線技術学会中部支部会　乳房画像研究会
第45回　三重乳腺勉強会　合同開催

報告　鈴鹿中央総合病院　井上友美

場　所　：桑名市総合医療センター　　管理棟
日　時　：令和4年6月26日（日）13時00分～16時00分
参加人数：30名
内　容　：
　　実習：ポジショニング実習　A班（7名）

　　講演：ポジショニングについての講義
　　～聖路加国際病院～　　小山　智美　先生
　　実習：ポジショニング実習　B班（7名）

令和4年6月26日、桑名市総合医療センターにて、第56回日本放射線技術学会中部支部会　乳房画像研究会が開催され参加しましたので、概要を報告いたします。

ポジショニング実習においては、マンモグラフィ撮影歴のある技師と、新人技師の2班に大別しての実習となりました。
実習は聖路加国際病院の小山先生に加え、岐阜医療科学大学の西出先生にもご指導をいただきました。ファントムを使って実践に即した実習を個人指導の形式で行われました。私自身の癖や弱点を的確に指摘して頂き、分かりやすく改善していただけたと思います。また、すでに撮影認定を持っている方も、取得時に教わったポジショニング知識をアップデート出来たのではないでしょうか。定期的に、講習会に参加することに意義があると感じました。

講演は、聖路加病院　小山智美先生をお招きして、マンモグラフィに求められる画像から、症例を提示した改善点までお話していただきました。

乳房における可動性組織の移動において、外側乳房を寄せて空いた隙間を身体ごと埋める点や、支持台と平行に手を返した後、脇を絞めて右上に手を抜く点などは、実習でなければ細部まで改善できなかったのではないかと、改めて感じました。症例提示においては、CC 方向の内側外側が欠ける場合や、可動性組織の伸展が不十分である症例を提示していただき、改善点や注意点など知りたいことが全てわかるような講演でした

お話の中で、小山先生は「マンモグラフィとはポジショニング（芸術）と画像生成（科学）の結合である」と言われています。どちらも技術知識の偏りが無いように、三重県全体としてもより一層、乳房画像における基礎から学ぶ機会が増えればよいと思いました。

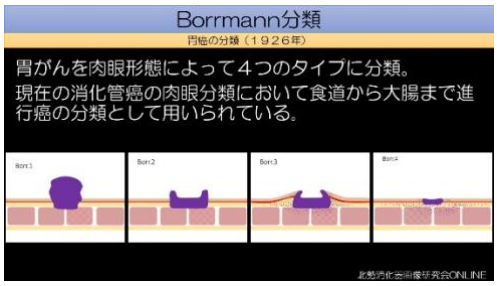
最後に小山先生が“質の高い技師になる”と意識する事が重要である、とおしゃっていたのが印象的でした。

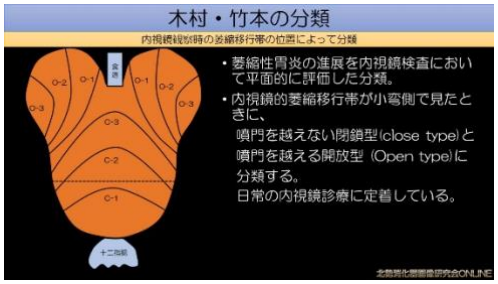
謝辞：最後に、会場を提供していただきました、桑名市総合医療センター並びに、感染対策をふまえての会場の準備・勉強会運営にご尽力頂きましたスタッフの皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

第12回北勢消化器画像研究会ON LINE (ZOOM)

報告者　JCHO 四日市羽津医療センター　伊藤誠
日時　2022 年 2 月 19 日（土）　20:00～23：15
参加人数　191 名

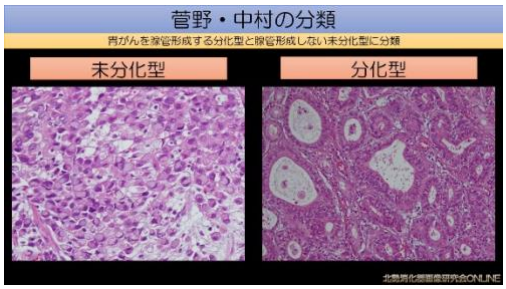
初心者セミナー　「胃疾患の分類２」　　講師　JCHO 四日市羽津医療センター　伊藤誠





はじめに 1926 年 Borrmann は胃がんを粘膜面側から見た形態についてその特徴を１～４型に分類した。この分類は、現代においても胃のみならず消化管において広く用いられている。

食道の疾患の分類では、まず、食道における生理的狭窄部を説明したうえで、食道アカラシアと食道裂孔ヘルニア、食道胃接合部癌の分類を解説した。続いて胃では、隆起性病変をその起始部の形態によって分類した山田福富の分類、粘膜下腫瘍の発育、GIST のリスク分類、ヘリコバクターピロリ菌により萎縮移行帯の移動により分類した木村・竹本の分類、ヘリコバクターピロリ菌の感染と胃粘膜萎縮の程度を X 線画像により評価した中島分類、胃潰瘍を胃壁の組織欠損の程度により分類した村上分類、胃潰瘍を内視鏡観察した時の形態と時相について分類した崎田・三輪分類、悪性リンパ腫を肉眼形態により分類した佐野の分類と八尾らの分類、血清 H.pylori 抗体と血清ペプシノゲン PG 法により胃がんリスク層別化を行った ABC 分類、我が国で多く用いられている胃癌を分化型と未分化型に大別する菅野・中村の分類、そして胃がんの一般型の組織形態について解説した。



検定試験対策講座　「検定試験の傾向と対策」講師　JCHO 四日市羽津医療センター　伊藤誠

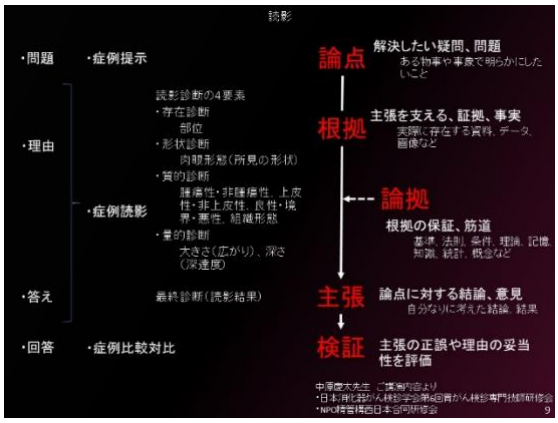
まず、本年に行われる予定の検定試験の動向について最新情報をお伝えした。そのうえで画像を提出するうえで注意しなければならない点について説明を行った。そして基準撮影法２の手順と各撮影体位の説明、撮影画像のポイントについて復習を兼ねて解説した。

本年よりオンラインによる試験が行われるということであったので、筆記試験とオンライン試験の違いや、パソコンについても解説を行った。

出題傾向や範囲そしてオンラインによりテストの難易度が筆記試験に比べて変わる可能性があることも、具体例を挙げ説明した。また、ブラウザのショートカットキーや便利なソフトについても解説した。

講義　「所見用語の使い方」

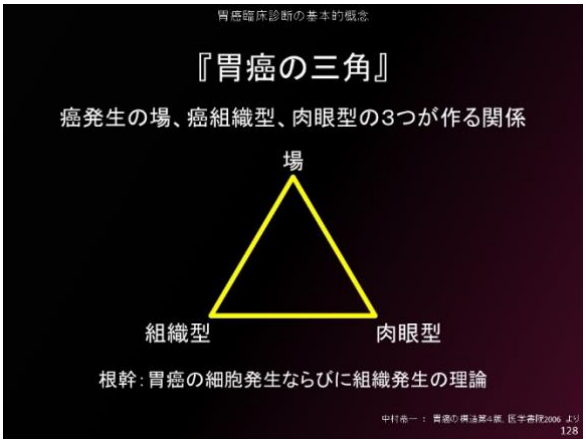
講師　松波総合病院　若井　信悟　先生



胃Ｘ線検査における画像構成は、二重造影・圧迫・充盈など造影剤の付着像などを基盤として、表現されたはじき像とたまり像および接線像（線状陰影）である。私たちはこれらの像の特徴を読み取って言葉（用語）に変換し所見として伝えなければならない。X 像の形態と用語について解説していただいた。

バリウムはじき像には、バリウムの抜け像（透亮像）、顆粒像、欠損像、周堤像、ひだ像などがあり、バリウムたまり像には、バリウム斑（陰影斑）、ニッシェ（突出像）、タッシェ、憩室などがある。接線像（線状陰影）では、大小弯の辺縁線（陰影欠損、硬化、ニッシェ）、複線化、ひだ像（ひだの稜線、集中）へこみ、圧迫、ひきつり、弯入、鋸歯状、直線化、たるみ、タッシェ、憩室などがあり、それぞれ特徴的な形態をしているため、像と用語を結び付けて覚えておく必要がある。

病変の形を表す用語としては、円形、類円形、楕円形、多角形、結節状、星芒状、分葉状、地図状などがある。表面や内面など面の様子を表す用語としては、平滑、凹凸不整、アレアの集中、島状粘膜残存などがある。辺縁の性状には、粗大、波状、鋸歯状、棘状、不明瞭、蚕食像などがある。ひだの性状は、消失（先細り）、やせ、中断、棍棒状肥大、V 型融合、H 型融合などがある。



これらの画像所見を拾い上げたうえで分析と診断を行う、『胃癌の三角』とは、癌発生の場、癌組織型、肉眼型の３つが作る関係であり、胃癌の細胞発生ならびに組織発生の理論と発育に関する関係であり、診断における安全装置の役割も担う。

いくつかの症例を用いて様々なＸ線像と形態所見用語について述べられ、読影（診断）の組み立てについても詳しく教えていただいた。

＝症例検討＝

前庭部小弯に発生した胃がんの症例を検討した。

病理結果：Type0-Ⅱc ，15mmX15mm ，por1>tub1, pT1a, INFa, Ly0, V0,　PM0(75mm) DM0(15mm)

粘膜下層では線維化が目立ちます。

明確な凹凸を有する病変であったため深達度の判断に苦慮した症例であった。

□　議事録

第 72 回　定時総会

1 開催日時　　令和 4 年 5 月 22 日（日）　13 時 05 分～13 時 50 分

2 開催場所　　Web Zoom

3 会員総数　　576 名

4 参加会員数　423 名（新型コロナ感染症対策によりオンライン開催となったため事前書面決議方式）

5 総会出席役員

【理事】界外 忠之、山田 剛、武藤 裕衣、森田 英稔、浅沼 源示、丹羽 正厳、
磯部 好孝、難波 一能、刀根 淳也、白藤 裕敏、小林 篤、後藤 末成、
三好 佳仁、姫子松 博洋、福田 剛史、太田 茂治、四竈 明日香、

【監事】中西 左登志、牧 浩昭、

6 総会司会

・ 小林 篤

7 総会の議長の氏名

・ 中舍幸司

8 議事録の作成に係る職務を行った理事の氏名

・ 安本浩二

9　開会の辞

・ 13 時 05 分、山田副会長が第 72 回一般社団法人三重県診療放射線技師会定時総会の開会を宣言。

10 会長挨拶

11 表彰受賞者紹介

・ 日本公衆衛生協会公衆衛生事業功労者表彰　岡田和正氏
・ 日本診療放射線技師会地域役員功労表彰　難波一能氏
・ 勤続 30 年表彰受賞者　久保雅敬氏、金谷明典氏、川野聡子氏、安本健一氏、佐光宏泰氏、川邉一晶氏

【創立 70 周年記念表彰者】

・ 三重県診療放射線業務功労者知事表彰　石河真人氏、浅沼源示氏
・ 三重県診療放射線技師会 功労表彰　難波一能氏、山田剛氏、北林厚生氏
・ 三重県診療放射線技師会　特別功労表彰　山本幸孝氏
・ 三重県診療放射線技師会　特別功労表彰　（統一講習会講師功労）　吉田 亘孝氏、田中 孝氏、藤川 久元氏、森田不二夫氏、森田昌枝氏、芝山裕紀氏、島岡勝正氏

12 議長選出

・ 鈴鹿医療科学大学　中舍幸司氏

13 議長登壇

14 資格審査を報告

・ 新型コロナウイルス感染対策の都合上、事前に会員に対して書面評決を求めた。会員総数　576 名に対し、書面評決による出席者 423 名で過半数を超えている。定款第 17 条により本総会の成立が宣言された。議事録署名人 2 名に、森田業務理事及び磯部業務理事を指名し議案の審議に入った。

15 議事の報告結果及び議案別決議の経過

報告 1 号について報告

・　令和 3 年度事業経過を界外会長より報告。
・　令和 3 年度庶務報告を磯部業務理事より報告。
・　牧監事より外部監事による監査報告書並びに令和 3 年度監査報告書の内容報告。
・　報告 1 号に対し書面も併せ、意見なし。

報告２号について報告

・　令和 4 年度事業計画を界外会長より報告。
・　令和 4 年度予算を森田業務理事より報告。
・　報告 2 号に対し書面も併せ、意見なし。

決議事項の審議

第１号議案

・　第 1 号議案、貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認について森田業務理事より提案。
・　第 1 号議案に対し書面も併せ、意見なし。
・　第 1 号議案承認に対し委任状による議決権として、事前の書面評決による賛成 415、保留 7、反対 1、以上より、賛成多数とみなし、第 1 号議案は可決された。

第２号議案

・　**第２号議案、**役員の選挙について選挙管理委員長の久保雅敬氏より説明された。
　➢　第２号議案承認に対し委任状による議決権として、事前の書面評決による賛成 415、保留 8、反対 0。以上より、賛成多数とみなし、第２号議案は可決された。なお、定款第 20 条 2 項により会長・副会長及び業務理事の選定は理事会で決議される。

その他事項

・事前書面によるその他の事項の意見は無かった。

議長は予定の議案はすべて決議され滞りなく審議を終えたことを宣言した。

16　議長降壇

17　閉会の辞

・武藤副会長が、第 72 回一般社団法人三重県診療放射線技師会定時総会の閉会を宣言。

以上をもって本日の議案全ての審議を終了し、13 時 50 分に閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録をつくり、議長及び議事録署名人がこれに記名押印する。

令和 3 年 5 月 23 日
一般社団法人三重県診療放射線技師会

議　長　　中舍　幸司　　㊞

議事録署名人　　森田　英稔　　㊞

磯部　好孝　　㊞

令和4年度　第1回 理事会

1 開催日時　　令和 4 年 5 月 22 日(日)14:10～14:30

2 開催場所　　Web Zoom

3 出席者氏名　【理事】界外 忠之、山田 剛、武藤 裕衣、森田 英稔、浅沼 源示、丹羽 正厳、
難波 一能、小林 篤、福田 剛史、太田 茂治、四竈 明日香、草川 拓也、
山下 剛、星野 吉昭、清水 孝哉、大友 秀夫、安本 浩二
【監事】白藤 裕敏、吉田 亘孝

4 進行等

定款第 30 条により会長が議長となり、14:10 開会を宣言した。

理事会を構成する理事 17 名のうち 17 名の出席を得たので、適法に成立する旨を述べ、議事の審議に入った。

5 議事録作成　安本　浩二

6 議事

【決議事項】

(1)会長・副会長・業務理事・外部監査の選定について

・界外忠之さんが会長に立候補され、理事全会一致の賛成にて界外忠之さんが会長に決議された。
引き続き、慣例により界外会長が副会長・業務理事を指名することに反対意見が無かったため、副会長に山田剛、武藤裕衣、業務理事に浅沼源示、丹羽正厳、森田英稔、安本浩二が選定された。

・本会以外の外部監査について、理事会において必要であると認めたため、引き続き山中会計士さんにお願いすることが承認された。

【会長あいさつ】

・界外会長より、会長職 3 期目重任に向けた抱負と、役員各位に協力を願うあいさつがあった。

【検討事項】

(1)新体制のメーリングリスト作成

・浅沼業務理事より理事メーリングリスト作成の案内があった。
新規理事は浅沼業務理事にアドレス等を連絡することとなった。

(2) 庶務業務理事の名称変更について

・武藤副会長より、「庶務業務理事」の名称を「総務業務理事」に変更してはどうか。との提案があった。
表彰規定と事務処理規定に庶務という名称が使われていることから、関係する規程すべてを改定し庶務を総務に変更することで了承された。

(3) 委員会制度体制の構築

・会長より、今年度より各種委員会を実際に運用していくために、次回理事会時に各委員会の委員長や委員の会長案を公表し選出することとなった。

【新役員あいさつ】

・新監事 2 名、新理事 6 名よりあいさつがあった。

以上をもって本日の議案全ての審議を終了し、14 時 30 分に閉会した。

上記の通り、原本と相違ない事を証明する。

令和 4 年 5 月 22 日
一般社団法人三重県診療放射線技師会

会長　　界外 忠之

令和4年度　第2回 理事会

1 開催日時　　令和 4 年 6 月 20 日（月）　19 時 00 分～21 時 30 分
2 開催場所　　Web Zoom
3 出席者氏名
【理事】界外 忠之、山田 剛、武藤 裕衣、森田 英稔、浅沼 源示、丹羽 正厳、
安本 浩二、難波 一能、小林 篤、福田 剛史、太田 茂治、四竈 明日香
草川 拓也、山下 剛、星野 吉昭、清水 孝哉、大友 秀夫、
【監事】白藤 裕敏、吉田 亘孝
4 進行等

定款 30 条により会長が議長となり、19 時 00 分開会を宣言した。

理事会を構成する理事 17 名中 15 名及び監事 2 名の出席を得たので、適法に成立する旨を述べ、議事の審議に入った。（難波、山田途中参加により最終参加理事 17 名）

議事録作成　安本浩二
5 議事
【会長より県技師会の活動報告】
(1)　県技師会メール配信サービス vol. 155～163 を配信した。
(2)　春季セミナーを開催した。
(3)　第 72 回（一社）三重県診療放射線技師会定時総会を開催した。
(4)　総会後学術講演会を開催した。
(5)　告示研修 FT 打ち合わせ会を開催した。
(6)　人材育成セミナーを開催した 。
(7)　日本診療放射線技師会　上田会長と懇談した。
(8)　鈴鹿医療科学大学評議員会に出席した。
(9)　県技師会事務所備品を更新した。
(10) 故 JART 吉川理事へ弔電をお送りした。
(11) フレッシャーズセミナーを開催した。
(12) JART 理事会に出席した。

【決議事項】
(1) 新人会員の承認について
・新入会 11 名について全会一致にて承認された。
(2) 表彰委員会からの推薦について
〈三重県関係〉
第 51 回医療功労賞候補者は見送り。
令和 5 年春　地域総合功労候補者は見送り。

令和 5 年公衆衛生事業功労者表彰候補者
北林厚生氏

【検討事項】
(1) 県技師会役員抱負の掲載について
・ 掲載することに賛同を得た。
・ 森田業務理事より、公開は会員のみに行う方が良いのではとの提案があった。
・ HP への掲載に関しては、会員ページに掲載することとし、広報担当理事に一任することとなった。
(2) 委員会について

・ 各委員会の委員長・副委員長の一覧（たたき台）が提示された。
・ 委員の選定は、各委員長より理事会に推薦した上で理事会にて決定することとなった。

(3) 助成団体担当理事の選定と助成団体会議について
・ 総務担当理事が行うことになった。
・ 研究会規程の改定に関しては継続して検討することとなった。

(4) 告示研修　FT・スタッフへの県技師会からの謝金について
・ 森田業務理事より説明があり、JART の規定に沿った形での支払いを行うことで承認された。

(5) フレッシャーズセミナーの講師謝金について
・ 森田業務理事より説明があり、JART の規定に沿った形での支払いを行うことで承認された。

(6) 各種規程のデジタルデータ保管（一括管理）について
・ 安本業務理事より、各種規程はデジタルデータの形式にて総務担当業務理事が一括管理することの提案があり、提案のとおり承認された。

(7) 統一講習会について
・ 未受講者のことを考え、今年度中に 1 回開催する方向で承認された。

(8) 地区担当者会議について
・ 地区担当者会議を 7 月に予定している。
参加メンバーは　地区担当理事　4 名（北勢地区：安本理事　中勢地区：草川理事　南勢・東紀州地区：星野理事　伊賀地区：大友理事）会長、副会長、総務業務理事。

(9) JART の新システムに関して
・ 理事会としては、（会の負担・責任が大きいため）参加しない方向で決定した。

【会長報告事項】

(1) 6 月 11 日、日本診療放射線技師会　第 84 回定時総会におきまして界外会長が JART 理事（中日本地域理事）に選定されました。

(2) 本会に 200 万円の寄付金があった。使途は問わないが技師の専門性向上に役立てていただきたいとのことであった。寄付者希望により寄付者氏名等の公表は行わない。

(3) 告示研修（8 月開催）と JRS の避けてほしい日程について
・ 日本医学放射線学会より、告示研修への医師講師派遣協力について、お盆、専門医試験など避けてほしい日程が届いた。
・ 8 月開催は避けてほしい日程と重なるが、三重大学の了承が得られたので開催は決定となった。

(4) 厚生労働大臣表彰受賞決定について
・ 三重県診療放射線技師会よりの推薦により、界外会長の診療放射線業務功労者厚生労働大臣表彰受賞が決定した。
・ 表彰式は、日本診療放射線技師会創立 75 周年記念式典にて行われる。

(5) ㈱三田屋製作所　賛助会員退会について
・三田屋製作所より、賛助会員退会の申し出があったため退会処理を行なった。

【副会長・業務理事報告事項】

(1) 第 62 回東海四県診療放射線技師学術大会開催報告
・山田副会長より
2 月 6 日　Web 開催
参加人数　190 名（会員　157 名、非会員　33 名）

(2) 春季セミナーの開催報告
・山田副会長より
4 月 21 日　Web 開催
『放射線部門における 2022 年度診療報酬改定について』
講師：日本画像医療システム工業会　診療報酬委員会
　鍵谷　昭典先生
参加者　53 名

(3) 学術講演会の開催報告
・山田副会長より
5 月 22 日　Web 開催
『くも膜下出血後の神経血管イベントの画像診断』
講師：三重大学大学院医学系研究科　臨床医学講座　脳神経外科学教授
　鈴木　秀謙先生
参加者　114 名

(4) 人材育成セミナーの開催報告
・武藤副会長より
5 月 26 日　Web 開催
『キャリアデザインとは～人生 100 年時代の自分設計～』
講師：鈴鹿医療科学大学　保健衛生学部　放射線技術科学科　教授
　武藤　裕衣先生
『九州国立病院機構診療放射線技師会における
　　キャリアデザインを用いた人材育成の取り組み』
講師：独立行政法人国立病院機構　九州医療センター
　今西　美嘉先生
参加者　76 名

(5) フレッシャーズセミナーの開催報告
・松浦県教育委員より
6 月 19 日　Web 開催
参加人数　30 名（フレッシャー　21 名、引率者　9 名）

(6) 旅費申請書のダウンロードについて
・浅沼業務理事より、旅費等の申請書一式は、HP のバナーからダウンロードできるようになったとの報告があった。

(7) 日本診療放射線技師会第 84 回定期総会について
・界外会長より、6 月 11 日に滞りなく終了した旨の報告があった。

以上をもって本日の議案全ての審議を終了し、21 時 30 分に閉会した。
上記の通り、原本と相違ない事を証明する。
令和 4 年 6 月 22 日
一般社団法人三重県診療放射線技師会
会長　　界外 忠之

□　編集後記

　朝、夕がめっきり冷えてもう近くまで冬が来ている季節となりました。近頃はほんと秋が短いです。我が家ではすでに石油ストーブをセットして準備しております。
　役員交代を経て最初の会誌です。
　HP会員専用ページには新役員の三重県診療放射線技師会への抱負を掲載いたしました。

三重県診療放射線技師会　297号　Vol.73　No.1

発行日　2022年10月28日
発行所　〒514-0032 三重県津市中央2-4　三重ビル 502号
一般社団法人　三重県診療放射線技師会
TEL/FAX　059-225-1491
ホームページ: https://mieart.jp
facebookページ : https://facebook.com/mieprefart
E-mail : contact@mieart.jp
発行人　界外　忠之
制　作　三重県診療放射線技師会編集班